

会社体験記

「働くことで学ぶ」
学院生のリアルをお届けします

同じようなことをしても
結果が違ったりしているのが、
面白い

今日、話を伺うのは株式会社グローバルアセットモーションズでOJT（On the Job Training）有給インターンを行う高校2年生の土田あさひさんと先輩の制作担当 高橋美紗子さんと一緒に「働くことで学ぶ」感想や想いなどをインタビューしました。

現在、どんなお仕事をしていますか？

土田「スポーツイベントのInstagram運用や、自社のInstagram、ブログの運用を担当しています。最近では、地元の映画館のホームページに掲載している上映スケジュールの更新などもやり始めました。」

高橋「ホームページの更新では、コード（HTML）の編集もやっています。徐々に、コードからみたホームページのつくりや構造を覚えていってもらえたらと思っています。作業はコピーして貼り付けという、言葉にするとは単純なものです。コードを見ながら、どこに何を貼り付けなければならないかを判断しなければホームページ



株式会社 グローバルアセットモーションズ

“ヒラメキをカタチに”
上越密着のクリエイティブ集団

上越に拠点を構える制作会社。豊富な実績と確かな想像力をもって顧客体験を構築できるチームです。スタッフ一人ひとりがプロフェッショナルとしての志を高く持ち、チーム一丸となって顧客満足を追う。お客様の期待を超える新しい答えを生みだし、提供することに拘っています。

ページの表示が大きく崩れてしまうことも難しいポイントですね。」

土田「コード自体は、中学校の技術の時間で見たことがあります。人が読める言葉じゃないなと思っていましたが……実際に作業をし始めてみて、最初のイメージよりは抵抗は薄れてきたかなと思っています。」

働き始めの頃なぜこの会社で仕事をしようと思った？

土田「早く働きたいな、と思っていました。また、自分に合っている仕事がいいなとも思っていました。そこで、学院で受験した学びみらいPASS（河合塾で提供されている高校生、中学生向けの進路指導用アセスメントテスト）の結果をよく見ました。学びみらいPASSの職業適性の上位にCGデザイナーがあったこと、広告などの業界に興味もあったこと、学院長からのおすすめもあってこの会社になりました。」

今想像していた仕事はできていますか？

土田「かなり近いことができています。投稿のやり方や他の同僚の作業など、いろいろなアカウンからいいねが多いイラスト



トを真似てみたりするのですが、思っていたより伸びないなと思ったこともあります。逆に、別のイラストは、おもしろい伸びて、なんでもうろうとしたり。分析をするのが好きなのもかもしれません。同じようなことをしても結果が違ったりしているのが、面白いと思っています。」

先輩の高橋さんにお伺いします。高校生を受け入れるにあたって、大変だったことなどはありますか？

高橋「実は弊社では、アルバイトやインターンのような雇用形態や受け入れをしたことがありませんでした。そのため教育プロセスのようなものもなく、特に専門的な内容について、どこまで何から教えていったらいいかを悩みました。土田さんとはとても飲み込みがよかったこともあり、一つずつ覚えていってもらうようにしています。専門的な仕事もやってもらうに付いてもらったと思っています。最近では、ちょうど1年経ったこともあり、電話応対もやり始めてもらっています。」

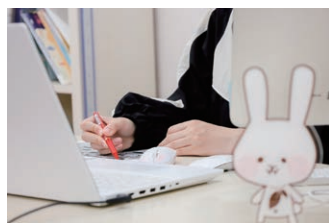
土田「電話はまだ緊張します。最初はものすごく緊張していました。ハッキリと聞きやすい声で、ハキハキと話すことを心掛けています。」

高橋「実際には私や他の先輩も電話を取ることがありますので、先輩のやっているところも見ながら、真似しながらできるようなってほしいなと思っています。」

これからのようなことを身に付けていきたいですか？

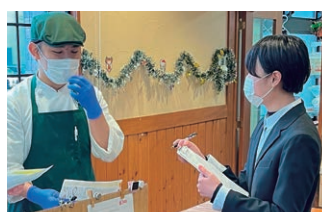
土田「着実に、一つずつ、できることを増やしていきたいと思っています。まだ十分ではないと思いますが、会社の役に立てるようなことができるようになったらいいなと。」

高橋「頼もしいですねーそういつてもらえて、とても嬉しいです。」



仕事の内容

制作事務所のスタッフとして、顧客の広報業務を請け負うことが主な仕事。SNSの運用や、チラシやポスターの制作など、扱う対象は幅広い。社外のデザイナーと協働しながら仕事を進めていくことも、制作の仕事の一つ。顧客とコミュニケーションを取りながら、顧客自身も気づいていない魅力を見つけ、デザインし、クリエイティブとしてカタチにすることがこの仕事の醍醐味。



とある一週間

月	火	水	木	金	土	日
休み	OJT	OJT	OJT	休み	休み	休み
				家業手伝い	家業手伝い	

※OJTとは別に家業の手伝いも。通信制の勉強は、毎日の空き時間を使って1時間程度、少しずつ進めている



柏崎サテライトの1年生が 「政策甲子園」に挑戦しました

「地域の課題を、自分たちの言葉で考えてみる」柏崎サテライト生3名の挑戦がスタートしました。PBLとして取り組んだのは「政策甲子園」へのエントリー。政策甲子園とは、日本青年会議所が主催し、高校生が主役となって日本の未来を作るための具体的な政策を立案・提言する全国規模の政策コンテストです。

地元のショッピングセンターで課題を調査し、そこから「どんな政策があれば、地域がもっとよくなる？」を考え、3人で何度も意見を出し合いながらアイデアをカタチに。発表練習では、柏崎サテライトのPBLを支援するaisaメンバーも同席。アドバイスをもらい、試行錯誤しながら発表を作りこんでいきました。



書類審査を通過し、迎えた北信越予選大会の本番。惜しくも決勝大会には届きませんでしたが、地域の課題に向き合い、自分たちなりの解決策を考え、伝えるところまでやりきった経験は、教室の中だけでは得られない学びになりました。同年代の参加者たちの姿からも、大きな刺激を受けた3人。今回の挑戦で見つけた課題も、次の挑戦へのステップとして、経験を重ねるために、できることを増やしていきます。

進むカフェメニューの試作。 新商品のアイデアも

上越校のPBLも佐渡汽船ターミナル1Fの、来年のカフェオープンに向けた取り組みが進行中です。カフェチームでは、看板メニュー「キューバサンド」の開発と並行して、ドリンクやスイーツの開発にも着手。高田駅周辺のカフェなどを視察し、アイデアを集めながら、試作に挑戦しています。9月に取り組んだのは、ゼリー入りのドリンク。プロも利用する素材を利用しながら、本格的な仕込みに取り組んでいます。

「炭酸で割るのがおいしい」「紅茶は、ちよっと苦いかも」様々な組み合わせを試しながら、将来のお客様の声をイメージしながらの試作を進めていきました。ゼリーの甘さだけではスイーツとしてはイマイチだという、自分でつくってみて初めて分かる気付きも。糸魚川でカフェ運営をしている会社のスタッフのサポートを受けながら、自分達だけのレシピづくりに挑戦しています。キューバサンドや、他のサイドメニューの開発も進行中です。今後のイベント出店の案内をぜひお楽しみに！



新スタッフ着任のお知らせ



メンター
松井 明(まつい あきら)

メンターとして、「働くことで学ぶ」学院生のみなさんを様々なシーンでサポートします。OJTでの学びを深めるリフレクションを始め、PBLの活動にも伴走。豊富な教員経験と、自身でも事業を行う経営感覚とを交えて、よりよい学びの機会を創出していきます。

〈松井さんからのメッセージ〉

29年間の教員生活を通して、本当にたくさんの子どもたちと出会ってきました。その中で感じているのは、人にはそれぞれ違った良さがあり、成長する速さも、目指す道も一人ひとり違っていいということです。高校時代は、これからの人生を決めてしまう3年間ではなく、「自分は何か好きなのか」「何が得意なのか」「どんな生き方をしたいのか」を、いろいろな経験や人との出会いを通して探していく時間だと思っています。うまくいかないことや、立ち止まることがあっても大丈夫です。遠回りに見えた経験が、後になって大切な意味をもつこともあります。メンターとして、一人ひとりの話をよく聞き、一緒に考え、ときには背中を押しながら、それぞれが自分らしい未来を見つけていけるよう伴走していきたいと思っています。ライトシップで、たくさんの人と出会い、いろいろなことを経験してください。その中から、自分だけの航路と一緒に見つけていきましょう。

お知らせ Information

10/2(金)~9(金) リフレクション期間

10/10(土) みなとカフェ出店(なおえつ鉄道まつり)

10/17(土) みなとのまごころ洗車&みなとカフェ出店
(学院生主催、井部商会 セルフ鞆の浜SSにて)

10/25(日) managara HighSchool スクーリング